

比較現代日本論研究演習 II (田中重人)

期末試験 (2002.1.23)

配布済みの論文「学校五日制に関する母親の意見の形成基盤」(轟亮 1995) を読み、下記の問題に答えよ。

【回答上の注意】

- ① 他の回答者の画面が見えないよう、互いに離れて座ること
- ② コンピュータで回答を書き、印刷して提出
- ③ 何を持ち込んで参照してもよいが、人に相談してはならない

1. この調査の設計について

- ① ユニバース (universe) は何か
- ② 標本 (sample) の抽出法を説明せよ

2. 表 2 では、学校五日制に関する意見について相関分析をおこなっている。この分析法をこのデータに適用することの問題点について述べよ。

3. 教育分業意識の因子分析について

- ① スクリーンプロット (scree plot) を作成せよ (Excel を使用)
- ② 単純構造 (simple structure) から外れた因子負荷量をもつ変数をひとつあげよ
- ③ 表 3-3 には必要な情報が欠けている。それは何か

4. 表 4 の相関係数行列では「父親職業威信」と「五日制への賛成」の関連は $r = 0.239$ だが、表 5 の重回帰分析では $\beta = 0.137$ と小さくなっている。こうなった原因を説明せよ。

(注) 「職業威信」とは、種々の職業に対する評価を多数の人に評定してもらい、その評定値の平均をつかって職業を序列づけたスコアである。日本では、直井 (1979) によって 1975 年に行われた調査によるスコアがよく使われる：

直井 優 (1979) 「職業的地位尺度の構成」編= 富永 健一『日本の階層構造』東京大学出版会：p. 434-472。

具体的な値は、同書の巻末付表か <http://www.nik.sal.tohoku.ac.jp/~tsigeto/ssm/occtable.txt> を参照

解答例

1. この調査の設計について

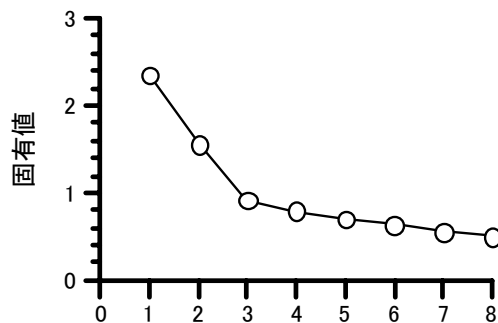
- ① ユニバース (universe) ……日本全国の公立学校に就学中の子どもとその親 (p.79)
- ② 標本 (sample) の抽出法……

県立高校 4 校 (島根県東部の進学校, 島根県西部の工業科高校, 島根県山間部の普通科高校, 石川県能登地方の普通科高校) から各 3, 6, 3, 9 クラスを抽出し、それらのクラスの全生徒とその保護者 (男女各 1 名) を標本とした。(p. 80)

2. 表 2 の問題点……高校生の意見が偏っている (表 1-3) のと、父親の意見が単峰形でない (表 1-2) ので、そのまま間隔尺度を前提とした分析をするのはよくない

3. 教育分業意識の因子分析について

- ① スクリーンプロット (scree plot)…… 表 3-2 から



縦軸は寄与率でもよい

- ② 単純構造 (simple structure) から外れた因子負荷量をもつ変数……(f) 健康を保つ または (b) 人生について考える (表 3-3)
- ③ 表 3-3 には必要な情報が欠けている。それは何か……回転後の因子の寄与率

4. 表 5 の β が小さくなっている原因……互いに相関をもつ変数をコントロールしたため。おそらく「生活教育期待」と「母親学歴」の影響がおおきい。